

各国とのEPA/FTA協力の現状

2012年12月6日現在

国名	実施時期	案件 ★は政府予算事業	概要	参考:協力に係る政府間等約束
タイ	2007年8月	第1回日タイEPA協力WC	・BIFF視察 ・【WC】調査団受入れについて議論。	日本国経済産業大臣とタイ王国商務大臣の間の共同文書(2007年4月) 7. 繊維および繊維製品に関する協力 日タイ両国政府は、タイ繊維製品の販売促進、日系企業のタイへの投資促進、タイ繊維産業の技術力強化等を図り、両国産業間の協力を奨励する。 http://www.meti.go.jp/policy/trade_policy/epa/data/JTEPA_corporation.pdf
	2007年11月	タイ調査団受入 (第2回日タイEPA協力WC)	・技術、市場の2分野を調査対象。 ・染色・整理産地(福井)、検査機関訪問(カケン)、市場調査(百貨店、アパレル)を実施。	
	2008年2月	日本官民ミッション派遣★ (第3回日タイEPA協力WC)	・【WC】タイ側より、以下の要望あり: ①4月にセミナー実施。②技術提携(福井技術者センター(染色・整理)、THTIの検査能力向上)。 ③日本市場向け生地の開発支援。	
	2008年4月	日タイEPA協力セミナー	・2日間講義とサンプル評価(個別相談含む)を実施。現地の縫製・生地メーカー等75名程度が参加。 ・我が国から講師(企業)が出張し、日本市場のトレンド、商品企画、ビジネスプロセスを紹介。	
	2008年8月	第4回日タイEPA協力WC	・先方より、セミナーの実施、染色専門家派遣を要請。 ・検査機関訪問(ポーケン)、市場調査(百貨店、GMS)を実施。	
	2009年1月	日本官民ミッション派遣★ (第5回日タイEPA協力WC)	・染色専門家がタイ染色工場を訪問。 ・【WC】3月のミッション受入れの概要、タイ側要望を基に今後の協力分野に関し議論。 ・セミナー(市場アクセス、テキスタイルトレンド、染色)及び染色ワークショップを実施。(セミナーは130名程度が参加)	
	2009年3月	タイ官民ミッション受入★ (第6回日タイEPA協力WC)	・JFW視察、市場調査、産地(尾州地域)訪問を実施。 ・【WC】次年度の専門家派遣に関し、基本的なスキームに合意。	
	2009年8-11月	専門家派遣(染色)★	・ATDP(タイ染色・仕上協会)に染色専門家(本間氏)を派遣。JODCスキーム	
	2009年7月 ~2010年2月	専門家派遣・ミッション受入れ (生地開発プロジェクト)★	・タイ繊維産業界による日本向け生地開発を支援。 ・7月サンプル購入ミッション受入れ。8月以降専門家を派遣。2010年4月BIFF(バンコク)での展示を目指す。	
	2010年1月	タイ官民ミッション訪日 (日タイEPA協力Ad Hoc会合)	・2009年中に実施した協力プロジェクト(染色、生地開発)のレビュー及び2010年度の協力事業の進め方等、今後のスケジュールについて意見交換。	
	2010年6月	タイNFTTI関係者訪日	・日タイ協力プロジェクトに関し、タイ織産連(NFTTI)ピラン会長他との意見交換を実施。	
	2010年10月	第7回日タイEPA協力WC	・2011年度の日タイ協力の在り方について、タイ織産連ピラン会長他との意見交換を実施。 ・タイ側より、来年度も引き続き生地開発プロジェクトの実施について要請あり。	
	2010年度	専門家派遣等 (生地開発プロジェクト)★	・専門家派遣(計5回)による生地開発(2012SSシーズン用)事業を実施。	
	2011年7月	第8回日タイEPA協力WC	・2011年度の日タイ協力の在り方について、タイ織産連ピラン会長他との意見交換を実施。 ・生地開発プロジェクト、専門家派遣の実施方法について意見交換。	
	2011年度	専門家派遣等 (生地開発プロジェクト)★	・2010年度に引き続き専門家派遣(計4回)による生地開発事業を実施(3年目)。	
	2012年1月	第9回日タイEPA協力WC	・2012年度の日タイ協力の在り方について、タイ織産連ピラン会長他との意見交換を実施。	
	2012年7月	第10回日タイEPA協力WC	・2012年度の日タイ協力の在り方について、タイ織産連ソムサック会長他との意見交換を実施。 ・専門家派遣事業の実施方法等について意見交換。	
	2012年度	セミナー及びワークショップの開催 (日本市場を指向した製品提案能力向上)★	・2011年度までの生地開発プロジェクトの横展開のため、日本市場向け製品の提案能力を高めるためのセミナー及びワークショップを2回開催予定。第1回セミナー及びワークショップを8月末に実施済み。	
2012年度	専門家派遣(縫製生産管理)★	・TGMA(タイ縫製品製造者協会)に生産管理専門家を派遣し、10月から2ヶ月程度派遣指導(6社(工場)に対し巡回指導)を実施。		

各国とのEPA/FTA協力の現状

2012年12月6日現在

国名	実施時期	案件 ★は政府予算事業	概要	参考:協力に係る政府間等約束
ASEAN インドネシア	2008年12月	日本官民ミッション派遣★ (第1回日尼EPA協力WC)	・【WC】尼工業省・尼繊維業界との協力についての意見交換 →「日本の繊維・アパレル市場等の現状について」セミナー実施に合意(織産連、アパ産協、輸入組合)	<p>尼の製造業育成支援の一環として、繊維協力が位置づけられており、①染色技術向上、②対日輸出振興、③試験検査能力向上、④繊維産業戦略策定支援、⑤天然繊維活用技術支援の5分野についての協力が政府文書として取りまとめられた。(④については、2007年に尼工業省が策定したことにより、日本の協力は不要になった)。</p>
	2009年2月	日本官民ミッション派遣★ (第2回日尼EPA協力WC)	・尼工業省・尼繊維業界との協力についての意見交換 ・繊維セミナー/交流会の開催 ・尼現地繊維企業やニテキスタイルセンター等の視察	
	2009年10月	インドネシアミッション受入★ (第3回日尼EPA協力WC)	・JC視察、産地訪問、尼工業省・尼繊維業界との協力についての意見交換等。 ・【WC】次年度の染色専門家派遣に関し、基本的な概要等について合意。	
	2009年1月	専門家派遣(染色:事前調査)★	・バンドンの染色企業を訪問(2010年度専門家派遣の事前調査)	
	2010年9～12月	専門家派遣(染色)★	・インドネシア染色業界に染色専門家を派遣・指導(専門家1名を3か月間バンドンに派遣。5社(工場)を巡回指導)。	
	2011年10～11月	専門家派遣(染色)★ 染色セミナー	・インドネシア染色業界に染色専門家を派遣・指導(専門家1名を2か月間中央ジャワに派遣。2社(工場)を巡回指導。又、セミナーを開催)。	
	2012年度	専門家派遣(染色)★	・インドネシア染色企業に専門家を派遣・指導予定(専門家1名を2月に派遣予定)。	
	2012年度	セミナー開催 (縫製生産管理)★	・生産管理の専門家を派遣し、縫製企業の生産管理に関するセミナーを9月上旬に開催。	
	2012年度	研修生受入	・文化学園において、短期研修生を受入予定。	
カンボジア	2008年2月	日本官民ミッション派遣★	・GMACとの意見交換の他、プノンペン近郊の縫製工場を見学。	<p>文書はなし。 ただし、2007年のAJCEP交渉中、甘利経済産業大臣(当時)からチャンプラシッド・カンボジア商務大臣に対し、繊維原産地規則の二工程を受入れるのであれば、カ国繊維産業の競争力強化に係る協力をを行う旨提案したところ、先方がこれを受け入れた。</p>
	2008年11月	カンボジア官民ミッション受入★	・企業向けセミナー、縫製産地(JUKI、福島)訪問、検査機関訪問(カケン)、市場調査(百貨店、GMS、商社、アパレル)	
	2009年12月	日本官民ミッション派遣★	・先方関係者(商業省、GMAC)と今後の協力について意見交換。GMACは設立予定のNGTI(衣料品技術学校)への支援を要請。協力の在り方について、GMAC内にて再度検討。	
	2011年9月～2012年2月	専門家派遣 (パターンメイキング)★	・全額政府予算によるJODCからの専門家派遣(3年間継続予定)。初年度はパターンメイキングの専門家を派遣し、インストラクターを指導。	
	2012年度	専門家派遣 (パターンメイキング)★	・全額政府予算によるHIDA(JODCとAOTSが合併)からの専門家派遣の2年目を実施。パターンメイキングの専門家を派遣し、CGTCのインストラクター及び工場従事者に対し実践レベルを指導。	
ベトナム	2008年6月	ベトナム官民ミッション受入	・ベトナム政府(旧商務省)の要請に基づく。 ・企業向けセミナー、市場調査(百貨店、GMS、アパレル)を実施。	<p>日本国経済産業とベトナム商工省との間の協力に関する文書(2008年12月)</p> <p>日本の経済産業省とベトナムの商工省は、…電子電気産業、繊維産業、機械産業等といったベトナムの競争力のある特定分野のさらなる発展の必要性を認識し、…両省は、しかるべき予算の範囲内において、また、国内の関係法令に従い、ベトナムの裾野産業を育成のため、以下に定める支援を実施する。… http://www.meti.go.jp/policy/trade_policy/epa/data/081225JV03.pdf</p>
	2009年11月	日本官民ミッション派遣★	・【WC】越商工省・産業界と日越協力WG立ち上げ。越側より協力要望を再提出することとなった。 ・展示会(VIFF)、工場、市場を視察。	
	2010年3月	繊維課通商室のベトナム訪問	・通商室長が訪越し、ベトナム商工省、VITAS、VINATEXを訪問。昨年11月の会合のフォローアップとして協力要望等について意見交換を実施。	
	2010年10月	ミッション受入★	・国内視察(市場、縫製工場、アパレル、QTEC、文化服装学院等)、企業向けセミナー開催、官民協力WC開催等	
	2011年8月	セミナー開催 (生産管理・デザイン)★	・分野ごとのパターンメイキング及び生産管理に関するセミナーを開催。	
	2011年2月	専門家派遣(染色)★	・染色に関する専門家を1週間派遣し、2社を訪問。	
	2012年度	セミナー開催 (染色・生産管理)★	・縫製企業の生産管理に関するセミナーを8月末に実施。また、1月下旬に染色技術に関する専門家を派遣し、セミナー指導を実施する予定。	
フィリピン	2012年度?		・必要に応じて、協力事業を実施。	<p>日本繊維産業連盟とフィリピン衣類輸出連盟(CONGEP)との間の共同文書(2005年11月) EPA署名後、以下の2つを進めることが記載されている。 ・両国へのマーケットアクセス ・技術協力</p>
ミャンマー	2012年度	ミッション受入★	・ミャンマー縫製人材開発センター(MGHRDC)のインストラクター及び縫製企業経営者を10月中旬に招聘し、セミナー開催、視察等を実施。	—

各国とのEPA/FTA協力の現状

2012年12月6日現在

国名	実施時期	案 件 ★は政府予算事業	概 要	参考:協力に係る政府間等約束
インド	2008年11月	印アパレル輸出振興協会(AEPC)ミッション受入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・2008年10月の官民ミッション訪印時にAEPCがミッション受入れ支援を要請。 ・東京・大阪を訪問し、意見交換(輸入組合、アパ産協)、市場調査(百貨店)を実施。 ・2009年1月の印国際ガーメント展示会(@デリー)のPRも兼ねる。 	日印EPAの協力の章に繊維協力が設定され、以下の2つの協力を主に取り組むこととされた。 ・繊維貿易促進のための展示会 ・繊維に関する様々なセミナーやワークショップの開催
	2009年7月	AEPCミッション受入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・IFF出展を側面支援。※ダヤニティ・マラン繊維大臣も来日。 ・官民主催の歓迎レセプションの他、意見交換等も実施 	
	2010年1月	日本官民ミッション派遣★	<ul style="list-style-type: none"> ・交渉を兼ねた官民ミッションの派遣(商工省、繊維省、AEPC、CITI等を訪問)。 	
	2010年7月	インドミッション訪日支援★ (IFF開催期間中)	<ul style="list-style-type: none"> ・IFF出展を側面支援。※リタ・メノン繊維省次官も来日 ・官民主催の歓迎レセプションの他、メノン次官との意見交換を実施。 	
	2011年7月	インドミッション訪日支援★ (IFF開催期間中)	<ul style="list-style-type: none"> ・IFF出展を側面支援、AEPCウダニ会長と意見交換を実施。 	
	2012年度	インドミッション訪日支援★ (IFF開催期間中)	<ul style="list-style-type: none"> ・IFF出展を側面支援、インド繊維省キラン・デングラ次官等と意見交換を実施。 	